

議会だより しずし /

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.199

令和3(2021)年5月1日発行

4/8 大室台小学校入学式



議会HPIは
こちらから
Check!

3月
定例会

2月
臨時会

令和3年度当初予算などの議案審議等 . . . P2 ~ P8

委員会・本会議での審議結果 P9 ~ P10

一般質問 議員11名が町政を問う P11~P17

感染症対策経費の増額 P17

自主財源は減少

3月定例会 概要

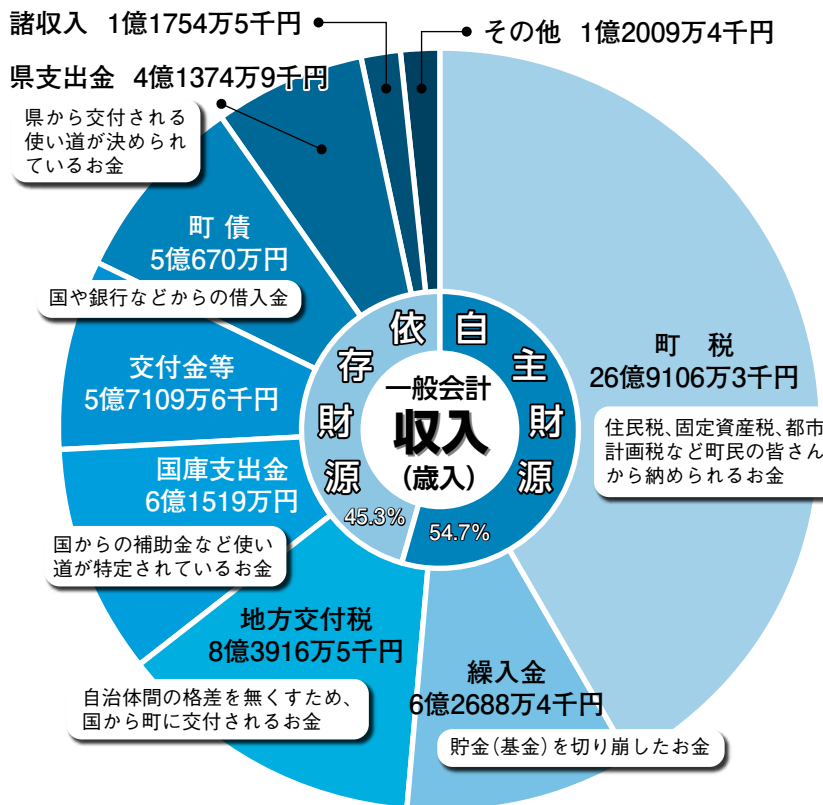
3月定例会は、3月3日から3月11日までの9日間の会期で開催され、町長から提案された議案20件と諮問1件、議員から提案された発議案3件及び請願1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案等はいずれも原案のとおり可決しました。

また、町長から「新型コロナウイルス感染症にかかる町の対応について」や「小中学校におけるGIGAスクール構想の実現に向けた取組みについて」など3件の行政報告が行われました。

一般質問は11名の議員が2日間にわたり行い、新型コロナウイルス感染症対策や地域振興、防災対策など町政全般について質問しました。

<歳入の概要>

町税は、コロナ禍の影響などにより、前年度比3億2898万4千円の**減額**。地方交付税は、町税をはじめとする自主財源の減少による影響から増額を見込み、前年度比1億2996万5千円の**増額**、繰入金は、地域福祉基金や財政調整基金からの繰入金が増加し、前年度比1億4740万2千円の**増額**、**国庫支出金**は、中央公民館施設整備事業や役場中央庁舎耐震補強等改修工事に伴う補助金や交付金などの減少により、前年度比2億3933万6千円の**減額**となり、**町債**は、防災対策事業、地方道整備事業などの減少により、前年度比2億910万円の**減額**となっています。



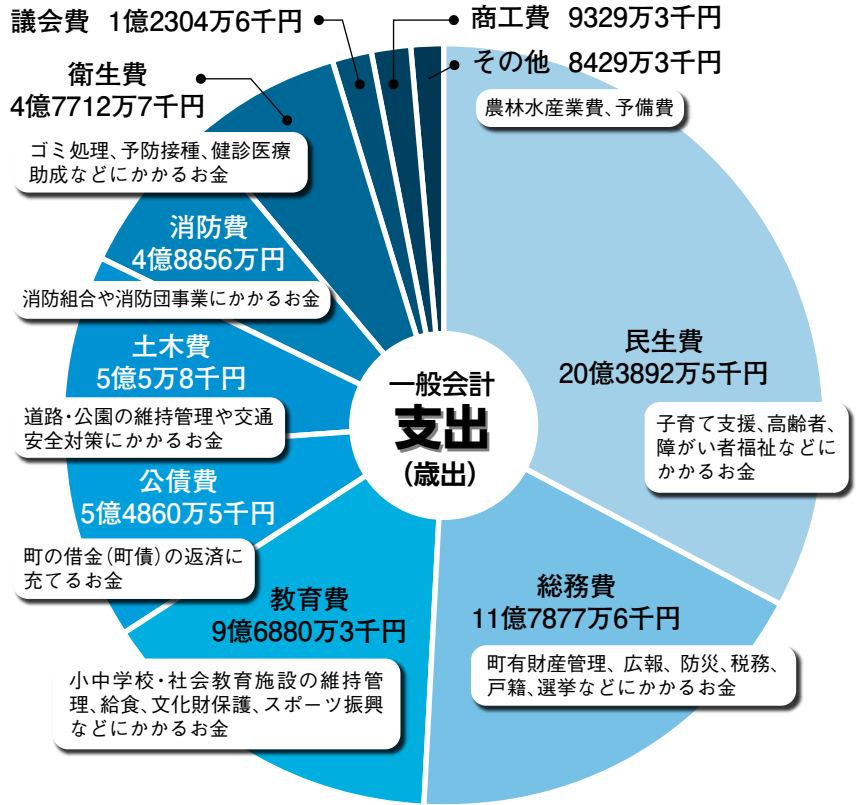
一般会計	65億148万6千円 [前年度比 △4億4267万2千円、6.4%減]			
特別会計	39億1219万4千円	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
		22億7258万9千円 [3.7%減]	13億2544万6千円 [1.6%減]	3億1415万9千円 [4.7%増]
水道事業会計	水道事業収益	水道事業費用	資本的収入	資本的支出
	5億5507万1千円 [0.8%減]	4億2461万円 [1.1%減]	598万5千円 [14.3%増]	2億9398万3千円 [12.5%減]
下水道事業会計	下水道事業収益	下水道事業費用	資本的収入	資本的支出
	3億8464万8千円 [0.4%減]	4億5711万5千円 [1.1%増]	983万2千円 [40.2%減]	1億1063万8千円 [3.4%増]

令和3年度当初予算

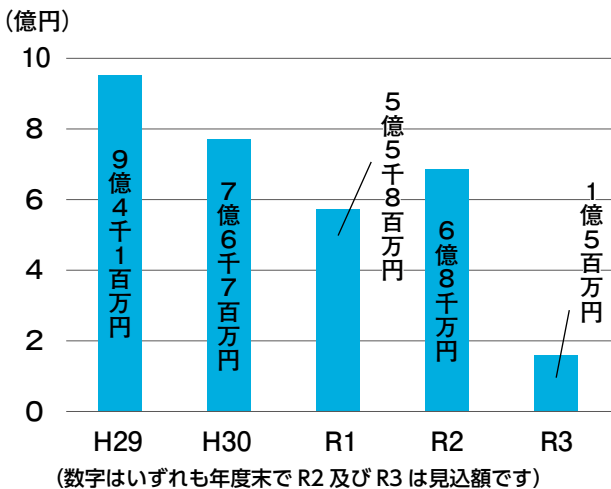
コロナ禍の影響などにより

<歳出の概要>

民生費は、放課後児童対策事業施設整備等補助金などの増加により、前年度比2844万1千円の増額、**総務費**は、役場中央庁舎耐震補強等改修工事などが減少したことにより、前年度比1億7005万2千円の減額、**教育費**は、中央公民館施設整備工事や国際交流業務などの減少により、前年度比2億5495万6千円の減額、**公債費**は、前年度比3496万8千円の増額、**土木費**は、社会資本整備総合交付金事業を活用した道路改良事業などの減少により、前年度比4284万7千円の減額、**商工費**は、まるごとしやすい整備事業の減少などにより、前年度比1121万7千円の減額となっています。

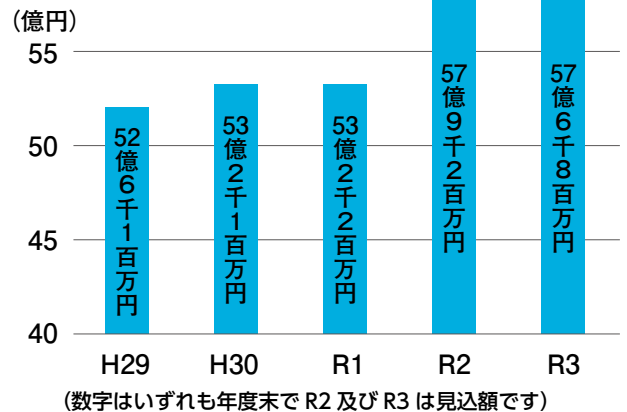


<財政調整基金(貯金)の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。

<町債(借金)残高の推移>



※道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。



令和3年度予算に関する賛成反対討論

賛成
 厳しい財政状況の中、
 有効かつ効果的な予算編
 成に賛成

金塚 学 議員

新型コロナウイルス感染症の
 拡大により、税収の悪化が見込
 まれる中、有効かつ効果的な
 予算編成となっている。

特に健康福祉分野は、「地域
 子育て支援拠点」「子ども医療
 費助成」の事業継続、教育文化
 施策分野は、町独自の「学習指
 導等専門支援員」「ALT（外
 国語指導助手）」の継続及び「I
 CT授業支援教員」の新規配置、
 都市基盤施策分野は、町道の整
 備、無電柱化、橋梁長寿命化な
 ど国の交付金を有効活用し計画
 されているほか、家具転倒防止
 等の器具の購入費補助など前年
 度比6.4%減のマイナス編成
 となり、緊縮財政であるが、「活
 力あふれるまちづくり」を推進
 されている。

税の確保としても、LINE
 PayやPAYPAYの電子収
 納をスタートするなど町民の利
 便性の向上にも努力されている
 ことを高く評価し賛成をする。



反対
 町民の暮らしと健康を守る
 予算なのか疑問であるため

地福 美枝子 議員

未だコロナ感染が収まらない
 中で、町民の暮らしと健康を守
 る予算になっているかが問われ
 る。

ちびっこ天国・町体育館・文
 化財活用の見通しが立たず、ふ
 れあいタクシーも増車されず利
 用者が減少となった。今後町民
 の声を聞き、その声にこたえる
 施策を示すべきである。

また、会計年度任用職員制度
 が始まったが、保育分野は女性
 が多い職場で非正規化が進んで
 いる。正規で採用すること待
 遇改善を求める。

さらに、印旛広域水道出資金
 が増えた。その理由は、霞ヶ浦
 導水である。この事業は、埼玉
 県・九十九里地域水道事業団が
 撤退し、残っているのは印旛広
 域のみとなり、工期がさらに延
 び事業費も大幅に増額された。
 このまま推移すると、高い水道
 料金になることが予想される。
 水需要が減っている中でこれ以
 上の負担は納得できない。以上
 のことから一般会計予算に反対
 する。

賛成
 すべての人が幸せな生活を
 送ることができるよう願う

小早稲 美穂 議員

今回新たに人権推進事業とし
 て「子ども家庭総合支援拠点事
 業委託業務」が予算化された。

この事業は、すべての子ども
 とその家族などに関係するすべ
 ての方々の親子関係、夫婦関係、
 兄弟関係、家庭の環境や経済状
 況、保護者の心身の状態、子ど
 もの特性などの養育環境全般に
 ついてを家庭全体の問題として
 とらえ、子育てに関する相談か
 ら貧困・養育困難な状況や児童
 虐待等に関する相談、また、妊
 婦期から子どもが自立するまで
 の家庭等に関する相談など、さ
 まざまな相談に応じるために関
 係機関と連携し、必要な支援を
 継続的に行うため「子ども家庭
 支援員」が健康福祉課に常駐す
 ることとなっている。

些細なことでも、ぜひ、子ど
 も家庭支援員へ相談していただ
 き、この事業を活用し、すべて
 の人が幸せな生活を送ることが
 できるよう願う賛成する。



賛成
 すべての子どもに必要な
 支援を行うことを希望し

大石 法子 議員

令和3年度予算には、新生児
 聴覚スクリーニング検査費用助
 成が盛り込まれている。聴覚検
 査はこれまで、任意となってい
 たことや検査費用に約5千円程
 度かかることから、積極的な受
 診が行なわれておらず、その実
 態をふまえ、国は各自治体に公
 費助成を呼び掛けていた。聴覚
 障害は、早期に発見し、適切な
 支援を行うことにより、音声言
 語発達が大きく変わる。SDG
 Sの「誰びとも置き去りにしな
 い」との基本理念のとおり、す
 べての子どもに必要な支援を行
 うことを希望し、賛成する。



子育て支援センターあいいいで楽しむ親子



酒々井町コロナワクチンコールセンター（保健センター内）
＝新型コロナウイルスの接種方法や接種券などの問い合わせ＝

☎ 043-496-5670

新型コロナウイルスワクチン接種関連の予算成立

酒々井町議会基本条例の制定

令和3年3月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議案

■議案第1号 国民健康保険条例の一部改正

児童福祉施設に入所している児童で扶養義務者のないものを適用除外とする規定を加えるもの。また、出産育児一時金の額について健康保険法施行令の規定と併せるとともに、新型コロナウイルス感染症を定義する規定が改められたことから、これに併せて本条例の規定の整備を行うもの。

※全員賛成で可決

■議案第2号 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の負担能力に応じた公平性を確保するため、令和2年度の法定課税限度額に合わせ、基礎課税額の限度額を、現行の61万円から63万円に、介護納付金課税額の限度額を、現行の16万円から17万円にそれぞれ引き上げ、後期高齢者支援金等課税額の限度額19万円を合わせた課税限度合計額を99万円にするもの。

※全員賛成で可決



■議案第3号 介護保険条例の一部制定

令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第8期介護保険事業計画」の開始にあたり、町介護保険条例における介護保険料率の適用期間を変更するもの。また、新型コロナウイルス感染症を定義する規定が改められたことから、これに併せて本条例の規定の整備を行うもの。

※全員賛成で可決

■議案第4号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

介護サービス事業所における、感染症の発生及びまん延等に関する取り組みを求めるとともに「感染症対策の強化」や、すべての介護事業者を対象に、利用者の人権擁護、虐待防止等の観点から、「高齢者虐待防止の推進」を義務づけるなど、所要

の規定の整備を行うもの。
※全員賛成で可決

■議案第5号■

一般会計を減額補正

今回の補正は、歳入では、コロナ禍の影響を踏まえた決算見込みによる施設使用料及び手数料や諸収入の減額の他、国・県支出金及び地方譲与税、町債や寄付金、繰入金等の調整を行い、歳出では、中川地先水防活動拠点の整備に伴い用地造成整備及び水防用資機材倉庫設置事業、その前面道路の町道幅員拡幅事業、さらに伊篠大橋伸縮装置補修事業、社会資本整備総合交付金事業等の緊急を要する経費を増額補正するもの。
また、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等の調整を行うもの。
さらに、年度内に終了できない見込みの事業について繰越明許費を、事業の確定により継続費の変更をするもの。
※賛成多数で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	99億7,981万3千円
補正額	△1億8,562万7千円
合計	97億9,418万6千円

討論

土地利用計画を定め提案するべきであるため

反対

齊藤 博 議員

平成30年に約1668万9千円で取得した中川283番1他7筆、面積362平米の土地に係る造成費694万円と床面積9平米の倉庫を187万円で新設する予算を含む補正予算に反対する。

反対する理由は二つある。まず場所が、中川の京成線架橋の上流側で、平成16年以後に「中川の溢水の恐れがある」として200m程の区間の河道をかさ

上げた所である。盛り土等により地盤を高くするが、それでも平成16年以前の河道高よりも低い地盤であり防災倉庫の設置場所として適切でない。

反対理由の二つ目は、倉庫の設置だけしか決まっていなくてである。予算化の前に事業計画を立て、その適地を定め、取得するのが鉄則である。これだけの面積が必要なのか。

先に「土地の取得」ありと思われる手法は、ご法度である。中川の治水対策の一貫として、土地利用計画を定め提案をされたい。

道路幅に11・5メートルは必要ではないため

反対

竹尾 忠雄 議員

補正予算に反対の意見を申し上げる。

上岩橋パーミヤン前の一方通行道路用地費約1000万円が計上された。現状は道路幅3・6m、歩道片側1・5mである。町は、歩道を両側に設置し、道路幅を11・5mにして「利便性

を高める」と説明があったが、自治会からの要望ではなく、一方通行も解消されないうまとなつていて。工事費を含めると多額の事業費となる。優先すべきは上郷自治会からの要望書やPTA・中学校生徒から要望されている福美造園下の通学路の拡幅ではないだろうか。

次に、水防費約881万円として倉庫建設費約180万円、造成費約700万円が計上された。用地は、平成30年度に362平米を約1668万9千円で購入し、造成費を含めると約2368万9千円である。まず、倉庫の設置以外の活用計画が定められていない。購入目的は何だったのか。頼まれて購入したのではないか。税金の無駄使いは認められない。

■議案第6号■

国民健康保険特別会計を増額補正

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、歳入の主な内容は、災害臨時特例補助金を増額し、

保険基盤安定繰入金を減額するもの。歳入の主な内容は、基金積立金を増額するもの。
※全員賛成で可決

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	23億6,972万7千円
補正額	7万6千円
合計	23億6,980万3千円

■議案第7号■
介護保険特別会計を減額補正

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、歳入の主な内容は、支払基金交付金、準備基金繰入金、国及び県支出金等を減額するもの。歳出の主な内容は、総務費、保険給付費及び地域支援事業費の決算見込みにより減額するもの。
※全員賛成で可決

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

補正前	3億120万7千円
補正額	1,243万円
合計	3億1,363万7千円

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、歳入の主な内容は、保険料と一般会計繰入金を増額するもの。歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金を増額するもの。
※全員賛成で可決

■議案第8号
後期高齢者医療特別会計を増額補正

<介護保険特別会計補正予算額>

補正前	13億6,539万円
補正額	△2,283万円
合計	13億4,256万円

今回の補正は、収益的支出は、排水路補修工事（東京学館下）を行うものであり、収益的収入は、その費用を一般会計から繰入れるため増額補正するもの。
※全員賛成で可決

■議案第9号
下水道事業会計増額補正

<下水道事業会計補正予算額>

収益的収入	補正前	3億8,804万1千円	収益的支出	補正前	4億5,394万6千円
	補正額	110万円		補正額	110万円
	合計	3億8,914万1千円		合計	4億5,504万6千円

■議案第10号から15号
一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計当初予算

詳細は2ページから4ページをご覧ください。なお、各議案の採決結果はすべて可決です。



■議案第16号
教育長に木村氏を再任

任期満了に伴い、現教育長である木村俊幸氏を再任するため、議会の同意を求めるもの。
※全員賛成で同意



木村 俊幸 教育長

■議案第17号
教育委員会委員に大塚氏を再任

任期満了に伴い、現教育委員会委員である大塚益子氏を再任するため、議会の同意を求めるもの。
※全員賛成で同意



大塚 益子 教育委員

追加議案
■議案第18号
一般会計を増額補正

今回の補正は、歳入は、1月に再度緊急事態宣言が発令されたことに伴う各事業者への支援事業給付金の追加交付、新型コロナウイルスワクチン接種について、町の体制整備及び接種業務に関する経費などを増額補正するもの。歳入は、新型コロナウイルス

追加議案
■議案第19号・20号
水道事業会計・下水道事業会計を増額補正

今回の補正は、成田税務署と下水道事業会計の消費税及び地方消費税の計算方法について見解の相違があり、追加での納付を求められたため、その原資として水道事業会計から下水道事業会計に貸し出すため補正を行うもの。
※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	97億9,418万6千円
補正額	9,508万円
合計	98億8,926万6千円

ウイルスワクチン接種及び感染症対策経費等の歳出の増額に伴う国・県支出金の増額や、地方創生拠点整備基金繰入金及び町債の増額補正を行うもの。
※全員賛成で可決

<下水道事業会計補正予算額>

収益的収入	補正前	3億8,914万1千円	収益的支出	補正前	4億5,504万6千円
	補正額	2,600万円		補正額	2,600万円
	合計	4億1,514万1千円		合計	4億8,104万6千円

<水道事業会計補正予算額>

資本的支出	補正前	3億2,995万6千円
	補正額	2,600万円
	合計	3億5,595万6千円

諮問

■諮問第1号

高梨子氏を人権擁護委員に推薦



高梨子 淳一 氏

人権擁護委員定数4名のうち1名が欠員となっているため、新たに高梨子淳一氏を推薦するため、議会に意見を求めるもの。
※全員賛成で適任

請願

■請願第1号

後期高齢者の窓口負担について原則1割の継続を求める請願書

政府は、75歳以上の高齢者で単身者の場合年収200万円以上、複数世帯で後期高齢者の年

討論

まずは国庫負担の割合を元に戻すべきであり賛成

地福 美枝子 議員

収合計が320万円以上の場合、医療機関の窓口で支払う自己負担額を現行の1割から2割に引き上げることを決めた。これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の暮らしとのち、健康を守る上で大きな影響を及ぼすことになる。国に対し75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求めるもの。
※賛成多数で採択

この制度は、国民を年齢で区切り、高齢者を別枠の医療保険に囲い込んで負担増と差別を押し付けるものだと思っている。対象者は370万人、コロナ禍で受診控えをしている高齢者に対してひどい仕打ちではないか。国会の答弁では、現役世代の負担減少は年720億円。本人負担にすると年350円減る

発議案

■発議案第1号

議会基本条例の制定

ただけ。一番負担が減るのは、国であり980億円が減るとのことだった。
高齢者には医療費が2倍となる負担がかかり、現役世代の負担軽減はたったの350円。国民に負担を増やし、国の予算を増やすどころか減らしている。国がやるべきことは、国庫負担の割合を現在の35パーセントから元の45パーセントに戻すことが必要だと考える。以上のことから請願に賛成する。

地方分権の確立をめざし、二元代表制の下、議会及び議員の責務を明確にするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づき町民の付託に応え、もって町民生活の向上及び町政の健全な発展に寄与することを目的とするもの。
※全員賛成で可決

※議会基本条例の条文など詳しくは議会ホームページをご覧ください。



■発議案第2号

議会会議規則の一部改正

今回の改正は、議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議会への欠席事由を整備するもの。また、請願者の利便性向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの。
※全員賛成で可決

■発議案第3号

意見書を国に提出するもの

請願第1号について、賛成多数により採択されたことに伴い、意見書を内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣に提出するもの。
※賛成多数で可決

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長

○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎地福／○御園生
江澤／齊藤
小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	国民健康保険税条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第5号	令和2年度一般会計補正予算（第8号）※委員会担当分野	3	1	原案可決
議案第10号	令和3年度一般会計予算※委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

※住民協働課、健康福祉課、教育委員会、固定資産評価委員会についての審査を担当

委員 ◎川島／○白井
佐藤／内海
金塚／大石

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	国民健康保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第3号	介護保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第4号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	5	0	原案可決
議案第5号	令和2年度一般会計補正予算（第8号）※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第6号	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	5	0	原案可決
議案第7号	令和2年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	5	0	原案可決
議案第8号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	5	0	原案可決
議案第10号	令和3年度一般会計予算 ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第11号	令和3年度国民健康保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第12号	令和3年度介護保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第13号	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	5	0	原案可決
請願第1号	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める請願書	3	2	原案採択

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎須藤／○竹尾
高崎／越川
酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	令和2年度一般会計補正予算（第8号）※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第9号	令和2年度下水道事業会計補正予算（第3号）	4	0	原案可決
議案第10号	令和3年度一般会計予算 ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第14号	令和3年度水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第15号	令和3年度下水道事業会計予算	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名 (件名は一部省略)	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤議長	竹尾	地福	越川	高崎
<条例の一部改正>																		
1	国民健康保険条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国民健康保険税条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	介護保険条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和2年度補正予算>																		
5	一般会計補正予算（第8号）	可決 (賛12・否3)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○
6	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	下水道事業会計補正予算（第3号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和3年度予算>																		
10	一般会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
11	国民健康保険特別会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
12	介護保険特別会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
13	後期高齢者医療特別会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
14	水道事業会計予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	下水道事業会計予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<人事案件>																		
16	教育長の任命同意（木村 俊幸氏）	同意 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	教育委員会委員の任命同意（大塚 益子氏）	同意 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和2年度補正予算>																		
18	一般会計補正予算（第9号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	水道事業会計補正予算（第3号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	下水道事業会計補正予算（第4号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦（高梨子 淳一氏）	適任 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める請願書	採択 (賛9・否6)	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
発議案1	議会基本条例の制定 (提出者 議会基本条例特別委員会 川島 邦彦 委員長)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案2	議会会議規則の一部改正 (提出者 御園生 浩士 議員 他5名)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案3	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める意見書の提出 (提出者 白井 則邦 議員 他6名)	可決 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

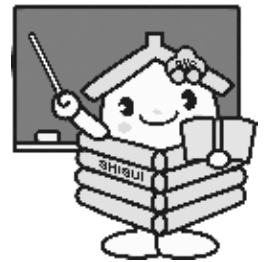
ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、3月10日と11日の2日間で11名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。

3月定例会の会議録は、6月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 大石 法子 議員・・・P 12

- ◆ 町民の健康福祉
- ◆ スクールサポーターの効果と今後の配置見込
- ◆ 町長の政治姿勢について
- ◆ コロナ禍における更なる支援

No.2 金塚 学 議員・・・P 12

- ◆ 防災・減災対策
- ◆ 教育環境の整備
- ◆ 町の活性化及び快適な住環境
- ◆ 安心・安全で住みよいまちづくりの推進

No.3 酒瀬川 芳子 議員・・・P 13

- ◆ 町の花「水仙」の普及
- ◆ JR南酒々井駅前整備の進捗状況
- ◆ 京成酒々井駅西口の旧「しすい味だより」の建物活用

No.4 内海 和雄 議員・・・P 13

- ◆ 防災行政無線
- ◆ 町道の整備
- ◆ 教育関係
- ◆ 墨工業団地

No.5 白井 則邦 議員・・・P 14

- ◆ 新型コロナウイルス感染症
- ◆ 福祉政策
- ◆ ふるさと納税
- ◆ 会計年度任用職員

No.6 川島 邦彦 議員・・・P 14

- ◆ 新型コロナウイルス感染症

No.7 地福 美枝子 議員・・・P 15

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策
- ◆ 生活保護

No.8 竹尾 忠雄 議員・・・P 15

- ◆ 町長の政治姿勢
- ◆ 通学路の安全対策
- ◆ 都市計画道路
- ◆ 旧「しすい味だより」施設の活用

No.9 小早稲 美穂 議員・・・P 16

- ◆ 旧「しすい味だより」の今後の活用

No.10 齊藤 博 議員・・・P 16

- ◆ 小坂町長の資産報告
- ◆ 酒々井南部地区の税込見直し
- ◆ ふれ愛タクシーの活用
- ◆ 進捗していない事業の現状

No.11 御園生 浩士 議員・・・P 17

- ◆ 令和3年度予算
- ◆ 新型コロナウイルス感染症等

問

新生児の「聴覚検査費用」の助成を以前から要望しているが

答

今年度から検査費用の一部を助成する

問 新生児の聴覚検査は早期発見、早期療養を行うことで、その後の生活が大きく変化すると言われていたが、検査費助成の考えを伺う。

健康福祉課長 「新生児聴覚スクリーニング検査」を推進するため、令和3年度予算に検査費用としての助成金を計上した。4月以降全ての新生児を対象として、3千円を上限に検査費用の一部を助成していく。

「コロナ禍における更なる支援について

問 コロナ禍において、町独自で医療従事者へ支援を行っているが、院外処方調剤薬局従事者にも院内従事者同様に支援すべきと考えるが、町の考えも伺う。

健康福祉課長 薬局には従事者数に応じて給付金を支給したが、慰労金については、「クラスターが発生していない」などの理由から対象にはなっていない。しかし、地域医療の維持に関し、重要な役割を担っているため、国の第3次補正予算の中で、町独自に保険薬局の従事者への慰労金を検討していきたい。



大石 法子議員

スクールサポートスタッフの効果と今後の配置見込みについて

問 現在、町内小学校に配置されているスクールサポートスタッフは、今後、県からの補助が切られても町で配置する考えがあるのか伺う。

学校教育課長 県費負担で小学校2校に配置されているスクールサポートスタッフは、教員の負担軽減に大変有効に働いていると聞いている。今後も小学校には継続配置を、また、中学校には新規に配置されるよう、県教育委員会へ要望していきたい。



スクールサポートスタッフは、プリントの印刷や保健データの入力等を行い、教員をサポートしています。

問

町の防災・減災対策は

答

避難所開設訓練の他に民間事業者と協定締結を推進している

問 近年は地震だけでなく気候変動や地球温暖化等の影響により自然災害が頻発している。町の防災・減災対策について伺う。

町長 職員の避難所開設訓練など繰り返し行い災害発生に備えるとともに、東京電力など生活に直接結びつく事業者等と災害発生時に有効な協定の締結を推進している。また、想定されるリスクに対する施策を推進していきたい。

教育環境の充実を

問 国の方針により新年度より5年かけ公立小学校の上限人数が35人学級となるが、町が独自施策で行っている補助教員の確保や外国語指導助手（ALT）は今後も維持していくのか。

学校教育課長 各小中学校に学習指導等専門支援員や特別支援学級介助員、ALT等の補助教員を配置しているが、今後も継続していきたい。

町の活性化、快適な住環境について

問 デジタル技術の進展によるライフスタイルの変化や新型コロナウイルスによる行政サービスのあり方の見直しなど既存の行政サービスや働き方の抜

問

安心・安全で住みよいまちづくり

答

第5次酒々井町総合計画（後期基本計画）にある幹線道路の整備率目標82%とあるが、整備率は現在何%か、また、その理由は何か。

本的な見直しが求められる時代の中で、デジタルトランスフォーメーションの取り組みや計画について伺う。

総務課長 総務省が夏を目前に、業務改革を含めた標準化等の進め方の手順書を自治体に向け提示するとしているので、全庁的なマネジメント体制等、今後の体制づくりに活用し、取り組んでいく。

安心・安全で住みよいまちづくり

問① 第5次酒々井町総合計画（後期基本計画）にある幹線道路の整備率目標82%とあるが、整備率は現在何%か、また、その理由は何か。

まちづくり課長 整備率は約61%で、目標値に届かなかった理由は、用地購入が予定通り進まなかったことや交付金が要望より少なかったこと等である。

問② 「酒々井南部地区新産業団地へのアクセス向上を図るため、尾上・飯積線の整備推進を図る」とあるが、どの程度推進されたのか。

まちづくり課長 尾上・飯積線の進捗率は事業費ベースで約10%、用地取得率は約77%となっている。



金塚 学議員



国指定史跡 本佐倉城跡に咲く水仙

問 町の花「水仙」の普及を

答 方策を検討していく

問 平成元年に町の花が「水仙」に制定され、当時は町内の各所で水仙の花が咲いていたが、近年あまり見かけなくなってしまう。水仙の花を普及させて、町の活性化につなげられないか。

副町長 町の花「水仙」の普及にあたり、町マスコミキャラクターが水仙を持つデザインなどを制作し、イペントなどにおける配布物等にデザインを印刷するなど、町の魅力を幅広くPRしている。今後も町の花「水仙」の普及による町活性化方策を検討していく。



酒瀬川 芳子議員

JR南酒々井駅前整備促進を

問 JR南酒々井駅前整備について、昨年9月議会での答弁の中で、JRからいくつかの条件が提示されたと同ったが、その後JRと話し合いがあったのか、町の考えや進捗状況を伺う。

まちづくり課長 現在、駅の南北を連絡させるための南酒々井駅跨線人道橋予備設計業務委託を発注し、橋梁の形式等、JRとの協議に向けた資料の作成を行っている。

旧「しすい味だより」建物の活用計画は

問 京成酒々井駅西口駅前にある旧「しすい味だより」は、平成26年度に廃業し、その後活用されていないが、建物の使用計画があるのか、また使用希望者があったのか。

経済環境課長 旧「しすい味だより」については、様々な活用方法を、現在、関係各課と検討を始めたところである。



旧「しすい味だより」の建物

問 防災ラジオ戸別受信機が使えなくなったことによる対応策は

答 SNS等による情報発信を行っている

問 アナログ電波からデジタル電波に移行され、防災ラジオ戸別受信機が使用できなくなった。これに代わる対応が必要と思うが、町の考えを伺う。

総務課長 対応策として「防災行政無線テレホンサービス」や「しすいメール配信サービス」を活用してほしい。令和3年度には「防災情報等配信システム整備事業」を実施し、SNS等による情報発信も可能になるので、活用いただけるよう周知を図っていく。

町道の整備促進を

問① 伊篠新田地区内の道路改良を早急に実施すべきと思うが計画を伺う。

町長 平成23年度に事業化したが、地元からの意見により事業を見送った経緯がある。伊篠新田地区内は幅員が狭いなど改良の必要性を認識している。

問② 町道の側溝蓋の整備がされていない箇所を町は把握しているのか。

まちづくり課長 1級町道及び2級町道で側溝蓋が整備されていない箇所は概ね把握している。転落する恐れがある箇所は、道路パトロールを実施しているが、一報ただければ対応するので、



内海 和雄議員

町民の皆様にもご協力いただきたい教育関係について

問① 酒々井中学校のグラウンド拡張計画はどうなっているのか。また、令和3年度の用地購入計画面積を伺う。

こども課長 現在、テニスコート整備工事を進めており、今後は野球場の整備を進めていきたい。令和3年度は用地購入の内諾を得ている案件はない。

問② 酒々井小学校のグラウンドの未買収地は早急に解決すべきと思うが、令和3年度の計画を伺う。

町長 令和3年度に用地購入の内諾を受けている案件はないが、残る地権者にご理解いただけるよう進めていく。

墨工業団地の進捗状況は

問 (株)マルエツ所有の土地は別会社に移転されたと報告があったが、その後の進捗状況と(株)ディスコ所有地の状況について伺う。

経済環境課長 マルエツ所有地は大手食品会社に所有権が移転しており、今後も事業者の意向等確認していく。ディスコの所有地は、同社との協議を継続している。

問

介護施設などの従事者に対する一斉PCR検査の実施は

答

国において、検査の集中実施計画を作成し、検査を実施している



白井 則邦議員

問

ワクチン接種の順位に町裁量はないのか

答

国で決定しているので、町にはない



川島 邦彦議員

新型コロナウイルスで移動制限や営業自粛が続き、健康維持、世帯収入、事業継続などが危惧されている。そこで、町内の現状を把握し、課題解決に向けて認識を共有することとしたい。

問① 幼保および小中学校において、感染予防の課題と、今後の環境整備の検討があれば伺う。

町長 保育園や幼稚園等では、遊びに夢中になると密が生まれるなど、職員の身体的負担や精神的不安が大きな課題である。

学校教育課長 一番危惧しているのは、児童生徒の危機意識をいかにして継続させるか、というところであり、「新しい生活様式」が途切れないよう、今後も学校と連携し、指導を重ねていきたい。

問② 生活困窮者からの相談受付や具体的対応の実績を伺う。なお、町独自の支援策として水道基本料金の減免を提案したい。

健康福祉課長 町や社会福祉協議会に併せて385件の相談があり、のうち16件が生活保護決定、273件が社

会福祉協議会で実施している「新型コロナウイルス感染症対応に伴う特例貸付」を利用している。水道料金の減免については、議員からの提案として受け止めていただく。

問③ 町内事業者の休業等について、町が把握している現状を伺う。

経済環境課長 商工会から、会員事業者で3件の廃業があったが、コロナの影響ではなく、高齢によるものと聞いている。

問④ ワクチンの接種順位について、町が臨機応変に対応する裁量はないのか伺う。

健康福祉課長 国関係の審議会等における検討や科学的知見により決定されるので、町の裁量はない。

問⑤ 町施設の利用再開時期、条件およびアナウンス方法を伺う。

経済環境課長 町施設の再開時期については、県内の病床使用率など医療提供体制の状況や感染状況を踏まえ、対策本部会議の中で検討していきたい。再開については、町ホームページ等でお知らせする。

問

新型コロナウイルス感染症について、無症状者による感染拡大が問題となっているが、今後、医療・介護・保育などの施設において、一斉・定期的なPCR検査は実施されるのか

健康福祉課長 国では、感染多数地域における高齢者施設の従事者等の検査の集中実施計画を策定し、令和3年3月までを目途に検査を実施し、その後も状況に応じて検査の実施を求めている。これを受け千葉県では対象施設に対して事前調査を実施しており、障害者施設にも同様の事前調査を行っている。

ふるさと納税の現状は

問 ふるさと納税について、コスト、補填される地方交付金なども含めて考えた場合、酒々井町の収支は赤字か黒字なのか。

企画財政課長 令和元年度実績のふるさと納税の純収入額は、寄附受入額1767万9242円から経費959万8934円を差し引いた808万308円となっている。また、町民の方が町外へふるさと納税を行った影響による令和2年度町民税の減収額は、1730万3792円で、差し引き922万3484円の減収となる

が、地方交付税により、減収額の75%が補填されるので、これを考慮すると約375万4千円の増収となる。

福祉施策の充実を

問① 地域共生社会の実現に向け、貧困や介護、孤立などに対応するための重層的支援体制整備事業を実施する予定はあるのか

町長 日常全般の相談窓口「町社会福祉協議会」、高齢者相談窓口「地域包括支援センター」、子育て相談窓口「子育て支援センターあいあい」等があり、どの窓口で相談を受けても、連携を密にし、酒々井町ならではの効率的な対

問

PCR検査の更なる充実を

答

自己負担を考慮し、検討していきたい



地福 美枝子議員

問① PCR検査を町の補助で受けた65歳以上の人数は、使われなかったその予算はどのように使うか。

町長 2月末現在、34名の方が検査を受けた。来年度も自己負担を考慮し検討していきたい。

問② 高齢者・障害者施設の職員、入所者のPCR検査の予定は。

町長 千葉県の状況やPCR検査に関する新たな助成方法を検討していく。

問③ 自宅療養になった一人暮らしの方に對する生活支援はどのように。

健康福祉課長 印旛保健所において、配食サービスの案内をしている。

生活保護について

問① 現在の生活保護利用者世帯数、相談件数、および決定世帯数は。

健康福祉課長 1月末現在、生活保護利用世帯は159世帯、令和2年4月から令和3年1月までの相談件数は28件あり、そのうち申請件数は16件、保護決定も16件である。

問② 保護決定に至らなかった理由は。健康福祉課長 相当の資産残額があった場合などがあげられる。

問③ 扶養照会・資産調査はおこなっているか。

健康福祉課長 町では手続きする際の扶養照会や資産調査は行っていない。

問④ 昨年の緊急特別貸付件数および総額は。

健康福祉課長 社会福祉協議会に確認したところ、コロナ関連に関する緊急小口資金は149件、2940万円の貸付を行っている。

問⑤ 緊急に保護が必要とした場合の保護のための金品はあるか。

健康福祉課長 生活保護費が支給されるまでは必要に応じて社会福祉協議会で、緊急貸付等に対応している。

問⑥ 担当者の人数と、資格者は何人いるか。

健康福祉課長 印旛健康福祉センターのケースワーカーは4名で、社会福祉士の資格保有者はいないと聞いている。

問⑦ 業務委託はしているか。ケースワーカーの担当数はどのくらいか。

健康福祉課長 一人当たり60件を担当し、業務委託は行っていない。

問

被爆者の願い、核兵器禁止条約が発効されたが、町長の認識は

答

平和な社会は国民の願いだが、核兵器の問題は国会で検討すべき



竹尾 忠雄議員

1月22日、核兵器禁止条約が発効され核兵器の開発、実験、製造、貯蔵、使用など、あらゆる活動が禁止された。今、世界では核兵器廃絶へ進もうという声広がっている。

問① 核兵器禁止条約が発効されたことについて町長の認識を伺う。

町長 核や戦争のない平和な社会は、国民すべての願いであると思うが、核兵器の廃止等の問題は、国会において検討されるべきものと考えている。

問② 核兵器は非人道兵器の極みであり、絶対悪であることは明らかである。町長の責務は町民2万人の命と暮らしを守る責任がある。核兵器について町長の認識を伺う。

町長 町では「非核・平和都市宣言」をしており、十分意思を発表している。

通学路の安全対策を

平成22年度中学生模擬議会で上岩橋上郷地区「福美造園下の道路は狭く怖くて通れない」との生徒の訴えに、町長は「安全を確保しなければならぬ」と回答された。平成30年には上郷自治



道幅が狭い上郷地区の道路

で、福美造園の下だけではなく、その先の殿辺田踏切までが非常に急勾配になっている。緩やかにするには構造的な問題がある。

問

旧「しすい味だより」をまちづくりの拠点施設として活用しては

答

組織を立ち上げて検討したい



小早稲 美穂 議員

京成酒々井駅の順大側にある旧「しすい味だより」について質問する。

問 旧「しすい味だより」の建物はいつから利用されていないか。

副町長 平成27年3月に農事組合法人「しすい味だより」から町に建物が寄付され、以来、利用されていない。

問 どのような設備があり、ライフラインは使用可能か伺う。

経済環境課長 農産物を加工する施設だったので、冷蔵庫や調理器があるが、使用できるかの確認はしていない。電気や上下水道は整っており、プロパンガスも契約すればすぐに使える。



農産物を加工する施設だった旧「しすい味だより」

問 個人やグループ、事業者等が使用したいという場合には、どのような貸館の仕方が考えられるか伺う。

経済環境課長 個人やグループについては生涯生活センターを活用してほしい。事業者の場合は、賃貸借契約を結び長期的な貸出しになると思われる。

問 使用したいと考えている方の代表者・責任者の所在が町内外に関わらず貸館していただけるか。

経済環境課長 他の施設との兼ね合いを見ながら検討する必要があるが、公益性や町民の利益につながるものであれば、町外の方にも貸出しはできるものと考えている。

問 印旛沼や駅に近い立地を利用したまちづくりの拠点施設として、地場産農産物や印旛沼でとれた生き物等を調理・販売する事業者と提携・委託等をして、町活性化の一環にはどうか。

副町長 町民に取ってどのような施設がいいのか、組織を立ち上げて検討していきたい。

問

町長の資産報告には土地譲渡所得等も含まれるのか

答

土地譲渡所得も含まれる



齊藤 博 議員

問 町長職の「資産報告制度」は、政治倫理の確立のため、国会議員の資産報告に倣って町の条例で定められた制度であり、何人も閲覧することができると、所得報告書には、土地譲渡所得等の分離課税分も含まれるのか。

総務課長 分離課税も含まれる。

問 資産報告書によると借入金の額が、平成26年の報告から大きく増大しているが、その理由は何か。過去、私の「町長は町外に資産がありませんか」との質問に、小坂町長は無言のまま答弁をされなかった。その後、平成26年の報告では「富里市と印西市」に所有する資産があると加えられ、不記載の責任については「他意はない」との答弁であった。そのような経験から、借入金についても22年分と26年分では差があるが、間違いはないのか。借入先によつては、便宜供与等の話題を惹き起させるケースも考えられるので、ご本人からしっかりと説明すべきである。

町長 答弁なし

南部地区新産業団地からの税収は

問 南部地区新産業団地での税収7億円を見込んでいる根拠を伺う。

税務住民課長 平成18年当時に進出を予定した企業から提示された施設規模等から想定したもので、その当時に税収7億円と見込んだものである。令和元年度決算では、約3億8900万円の税収があり、この他にも地方消費税交付金や町たばこ税等の収入もある。また、アウトレットも今後拡張が予定されているので、全て完了した時点で判断したい。



問 千葉しやすい病院での病児保育の実施は

答 現時点での実施は難しいと回答を受けている

問 私は、病児保育を率先している、町の視察をしたことがある。小学生以下の子供を育てている世代にとつて、必要不可欠な事業であり、また若い世代が酒々井町に居住する選択肢の一助になると思う。千葉しやすい病院建設前に、この事が話題にもなったが、病院側と病児保育について相談をされたのか伺う。

こども課長 千葉しやすい病院とは建設当時に病児保育について協議をしたが、保育士の確保等、現時点では病児保育事業の実施は難しいと回答を受けている。町では、令和2年度からスタートした「第2期酒々井町子ども・子育て支援事業計画」に位置づけており、今後、施策の展開や事業予算及び適切な財源の確保について検討していく。

新型コロナウイルス関連について

問 新型コロナウイルス感染症の影響による、町事業や学校行事の中止や再開の判断基準を伺う。

健康福祉課長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染すると重症化しやすい高齢者等の



御園生 浩士 議員

安全を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、町事業の中止、延期を決定した。町事業の再開については、県内病床使用率など医療提供体制の状況や感染状況等を踏まえ、対策本部会議の中で、慎重に検討していく。

学校教育課長 学校行事の実施の判断に関し、一つ一つの行事について、教育活動のメリットと感染リスク、その双方を考慮し、各学校の校長が慎重に判断している。



新型コロナウイルス感染症対策本部会議の様子

2月臨時会

感染症対策経費の増額

新規創業者等支援給付金の創設

■議案第1号■

一般会計を増額補正

歳出の主な内容は、新型コロナウイルススワクチン接種経費及び感染症対策経費として消耗品、備品購入費の増額に加え、新たに新規創業者等支援給付金の創設、さらには、給食センターボイラー更新工事等、緊急を要する経費の補正を行うもの。歳入では、新型コロナウイルススワクチン接種経費等の歳出の増額に伴う国庫支出金の増額補正を行うもの。

※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	98億3,667万9千円
補正額	1億4,313万4千円
合計	99億7,981万3千円

討論

賛成
コロナ対策のさらなる強化に

小阜 稲 美穂 議員

まずは、子どもたちのために多くの方々のさまざまな対策のおかげで子どもたちが明るく楽しく元気に過ごせることに感謝申し上げます。今回の補正では、新型コロナウイルススワクチン接種に関する予算が多い中で、給食センターボイラー機を夏休みを利用して更新されることや各保育園にスタンド型カメラ付きディスプレイの非接触型検温器の導入、各小中学校3校への消毒液等の備品購入などさらなる対策の強化に感謝する。また、新規創業者は前年度の収支がないため支援がなかったが、今回、新規創業者等支援給付金として新規に創業された方々へ1件5万円支援する給付金が導入された。この給付金制度を活用していただきたいと思いを賛成する。

ふるさとガイドの会に聞きました

①酒々井町はどんなところ？ ②ふるさとガイドになったきっかけは？ ③町のおすすめスポット



もとよし たけお さん
本吉 丈夫 さん

- ①郷里を超えた「ふるさと」です。「おもてなしの心」を持った方々に日々支えられているので。
- ②お客様と「時間・場所・空間」を共有する「ガイド」を通し、自分自身の「もてなしの心」のスキルアップのため。
- ③『本佐倉城跡』北総の侵食台地を巧みに活用した15世紀後期の「土の城」の築城技術体感できる。



やまもと こういち さん
会長 山本 孝一 さん

- ①歴史遺産が豊富で国史跡が2か所もあり自然が豊かで四季折々の山野草が咲き季節感が味わえる。
- ②町興しの一助として、豊かな自然・景観・歴史を町内外に広報し、町民の方々には郷土愛を、町外の方には町の素晴らしさを伝えるため。
- ③『東山や城山から見る風景』遠くに筑波山が望み関東平野の広大さが実感でき、加えて四季を感じさせる自然がここにはあり、城の字の原点がある。



きうち よしはる さん
木内 義治 さん

- ①生まれ育った街であり、ふるさとである。古き歴史と伝統と新しい活力があふれる街。
- ②下総の国の都であった本佐倉城跡の歴史を学び、皆と分かち合いたかった。
- ③『築山』水戸黄門、明治天皇も訪れたといわれる印旛沼、筑波山を眺望できる絶景スポット。



酒々井町史跡ウォーキングでのガイド風景



本佐倉城跡見学会でのガイド風景

ふるさとガイドの会の会員は現在21名。千葉氏の居城「国史跡本佐倉城跡」、町名由来の伝説の地「酒の井の碑」、旧成田街道「酒々井宿」を中心に、中世から江戸時代にかけて栄えた「歴史の街・酒々井」の見所を豊かな自然と共に紹介されています。※ガイドは事前申し込み（1人から受付）
問い合わせ：生涯学習課文化財班 ☎ 043 (496) 5334

6月定例会のお知らせ

次の定例会は、6月2日に開催する予定です。

なお、感染症予防対策として、本会議場内で傍聴できる人数を7人に制限しています。傍聴を希望される方は感染症予防対策へのご協力をお願いします
また、役場中央庁舎耐震補強等改修工事の実施に伴い議場は分庁舎2階第2多目的室に移転しています。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171
(内線271、272)

編集にあたって

委員一同で目指した「手にとってもらえる議会だより」はいかがだったでしょうか。次号から編集委員が代わります。今後も議会中継等と併せて町議会の情報などに関心をお持ちください。

委員長	齊藤 博
副委員長	大石 法子
委員	須藤 伸次
委員	酒瀬川 芳子
委員	白井 則邦
委員	小早稲美穂